

ひらの

議会だより



復興への歩みを着実に

議会委員会の人数削減

⑤

町民の声を聞き よりよい体制を (定例会質疑)⑥

支援体制の強化や要望活動など 4議員が町政を問う⑩

みんな仲良くプール遊び!

(広野幼稚園)

No.126

平成27年7月17日発行
福島県広野町議会

E-mail gikai@town.hirono.fukushima.jp

復興への歩みを着実に

平成27年度6月補正～主な内容を紹介します～

農林系汚染廃棄物処理事業 2627万円

農林系廃棄物（ほだ木）については平成27年度に減容化処理されます。

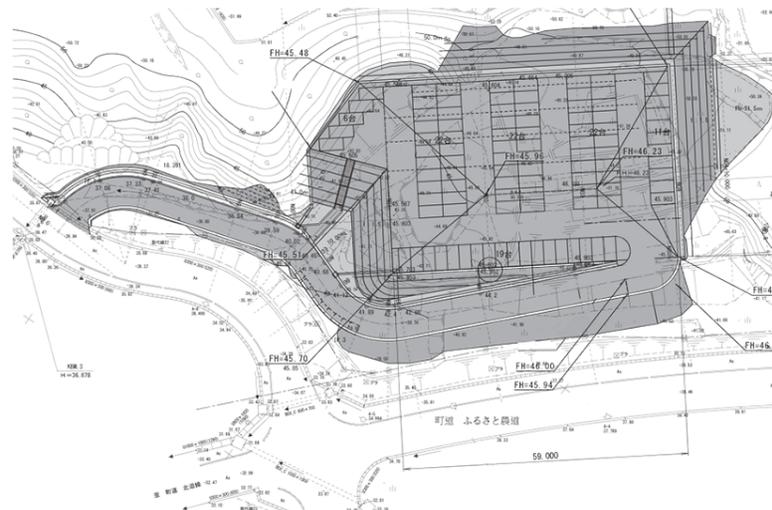


稼働した仮設減容化処理施設

役場駐車場 整備事業 4458万円

現在の役場職員の駐車場は、借地であり、職員全員が駐車できない状況です。

町有地に、駐車台数102台を予定した駐車場が整備されます。



広野小学校裏側の整備事業予定駐車場

公設商業施設指定管理料 934万円

広野町公設商業施設の設備管理、施設内の清掃管理、機械警備管理、事務管理などの指定管理料にあてられます。

放射線マップ作成事業 6446万円

従来から実施している家屋モニタリング調査に加え、農地・道路・山間部などの広範囲なモニタリング調査を実施し、広野町の放射線の現状が可視化できるマップが作成されます。

北釜地区下水道管路仮設工事 1億円

県が行う北迫川河川災害復旧復興工事に伴い、公共下水道管路の移設が生じるため、仮設管で運用する工事が行われます。



工事が予定されている北釜地内

6月
定例会

平成27年6月定例会を、6月10日から11日までの会期で開きました。今回は、平成27年度補正予算を中心に条例の改正など、提出された12の議案を慎重に審議し、すべて原案のとおり可決しました。

また、議員から「議会委員会条例の一部を改正する条例」などの議案が提出され、原案のとおり可決し、各委員会の人数を削減することに決まりました。

なお、一般質問では4人の議員が、それぞれ町の対応や考えを問いました。

国保税引き上げ案を可決

今回の国民健康保険税の税率改正で、被保険者一人あたりの税額が、前年度と比較して、医療費分が4・72%、後期高齢者分が4・88%、介護納付金が6・82%増加する見込みです。

また、前年度に引続き、一部転入者を除いて被保険者の国保税は全額減免措置され、今回の改正に伴う実質負担は生じません。



生活習慣病の予防をしましょう（健康ウォーク）

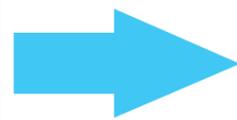
議会委員会の人数削減を議決

平成27年11月19日の任期満了に伴う選挙で定数が12人から10人に削減されます。これに伴い、議会における各委員会の人数も減らすことになりました。

常任委員会は5人体制で

【改正前】

- 総務文教常任委員会 6人
- 産業厚生常任委員会 6人



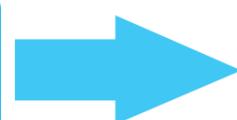
【改正後】

- 総務文教常任委員会 5人
- 産業厚生常任委員会 5人

広報委員会は7人から5人へ

【改正前】

- 広報委員会 7人
- 副議長のほか各常任委員会からそれぞれ3人をもって構成



【改正後】

- 広報委員会 5人
- 副議長のほか各常任委員会からそれぞれ2人をもって構成

討 論

医療費の減免がいつまで続くのか見通しが立たない中、税の値上げをされ、税を支払えない方は医療を受けられないということが非常に懸念されます。

やはり町は安心・安全を担保していくという立場で出来る限りの税の値上げを押しさえるという姿勢でなければならぬと思います。

国保税の見直しを求めます。

国保を守るために一定の負担は必要

門馬まりえ

国民皆保険制度を守っていくためには、ある一定の負担と健康づくりをしていかなくはならないと思います。これから町は、地域包括支援センターの充実強化を図り、保健師の採用を増やして生活習慣病を

予防するために、健康づくりへの第一歩を踏み込んでいくわけです。

保健・医療・福祉の充実強化をしていくためには税の改定をし、国保を守るということが大事であると考えています。

賛成

反対

- 遠藤 浩
- 小磯 利雄
- 北郷 幹夫
- 門馬 巧
- 渡邊 正俊
- 黒田 政徳
- 渡辺 久長
- 塩 史子
- 坂本 紀一

人事案件に全員が同意

3件の人事案件は、それぞれ適任であると認め、任命に同意しました。

教育委員会委員



ねもと ながゆき
根本 修行 氏
(大字下浅見川)

人権擁護委員



にいつま ふみこ
新妻 富美子 氏
(大字折木)

人権擁護委員



ねもと まさひと
根本 賢仁 氏
(大字下浅見川)

町民の声を聞き
より良い体制を整えよ

6月定例会の質疑では、町民バスの時刻改正など、議員からさまざまな意見や要望が出されました。そのなかの一部をご紹介します。

町民バス運行時刻の改正は

塩 史子議員

JRの電車との連携が取れておらず、町民の方から運行の時刻に苦情があると思います。苦情をおき、このように改正されるのですか。また、改正した場合、その時刻表での運行はいつからですか。

大和田総務課長

様々な地区の方から苦情をいただいています。全ての方々から理解を得るのは厳しいと考えますが、出来る限り要望に応える形で対応していきたいと考えます。また、改正は7月上旬を予定しています。



JRと町民バスの運行時刻の連携が望まれている



運行方法が検討される町民バス

オンデマンド方式を導入せよ

門馬 巧議員

町長

町民バスを運行するにあたり、利用者の要求に応じてサービスを提供する※オンデマンド方式を導入し、利用者から要求があった際には運行するといったほうが、効率的且つ経済的、さらには地球温暖化防止に繋がると思いますが、いかがですか。

※オンデマンドとは
利用者の要求に応じてサービスを提供する方式

オンデマンド方式など、こういった方法が良いのか、何が適正であるのかをバス会社などの専門の方に相談しながら検討していきたいと考えます。

庁舎内パソコンのウイルス対策は

北郷幹夫議員

※マイナンバー制度ですが、日本年金機構のサイバー攻撃問題が大変問題となっております。庁舎内パソコンのウイルス対策はどうか。

大和田総務課長

ウイルス対策用のソフトを入れて情報漏れのないようにしています。また、国・県と繋がっているパソコンは、※ファイヤーウォールというソフトウェアを入れて外敵からの侵入を防いでいます。



ウイルス対策をしている役場庁舎内パソコン

計画的に予算を確保せよ

渡辺久長議員

7月5日開催の7周年記念パークゴルフ大会に係る予算が、今回の補正での計上となっています。

大和田総務課長

予算査定の段階で、公民館から相談を受け、6月定例会で承認をいただき予算を確保することにしました。

予算確保前に町民に對しすてに開催通知が郵送され、計画性がありません。早急に事業を展開しなくてはいけないのであれば、他に方法はなかったのですか。

大会の周知は、期間が短くなってしまっているので、その点はご了承願いたいと思います。



賑わいを見せるパークゴルフ大会（二ツ沼総合公園）

※マイナンバー制度とは
国内で住民登録をするすべての人にそれぞれ12桁の番号を割り振る制度で、2016年から国や自治体は社会保障と税、災害対策の3分野での利用を始める。

※ファイヤーウォールとは
あるコンピュータやネットワークと外部ネットワークの境界に設置され、内外の通信を中継・監視し、外部の攻撃から内部を保護するためのソフトウェアや機器システムなどのこと。

土

地賃借料は1㎡160円を予定
復興に向けた造成事業

新たな医療関連施設は、県の補助金を使用しての整備を協議中であり、ホテル・集合住宅については自前の対応が可能ではありませんが、今の町営住宅管理など後年度を考慮した時、民間による事業展

開を検討しているとの説明がありました。なお、土地賃借料は、1㎡160円を予定。また、上大吹地区の復興住宅は、本町外の帰還困難・居住制限区域の皆さんが入居するとの説明がありました。

町独自の「近代化農業ゾーン」の位置づけと、昨年末より、県のイノベーションコースト構想との併合性を

持った計画を進め、被災地全体、広域的観点からの発想で「農業近代化拠点」を考えているとの説明がありました。復興事業整備区域外での、ほ場整備事業は完成後、7年間転用が認められないと地元説明中であり、町としても長期計画には支障ないエリアとみている。県営事業の防災緑地完成は27年度、法面植林は28年度になるとの説明がありました。



中高一貫校の造成に向け進む工事

造

成は28年度からの予定
中高一貫校

ふたば未来学園高校の進捗状況は、現在防災緑地事業の土取であり適さない土質が出てくるが、あと2メートルの高さまで土取り予定とおりの進捗である。造成については、28年度からと聞いています。交通安全対策については、文書で警察など関係機関に申し入れを行っていく。開校したふたば未来学園と町民との距離感については、機会を捉えて周知したいとの報告がありました。

委員会報告

状況を報告します。

- 平成27年 5月13日 開催
- 平成27年 5月15日 開催
- 平成27年 5月19日 開催

委員会の活動

総務文教常任委員会
産業厚生常任委員会
東日本大震災災害復興に関する特別委員会



27年度完成予定の防災緑地

前

年を上回るよう適切な指導を
平成27年産米の作付け

次の説明がありました。委員会は、2年間の経験と実績をふまえ、収量、特に品質においては前年を上回るよう耕作者と連携を図り、適宜適切な指導を図るよう求めました。

平

成28年秋からの着工を予定
ほ場整備事業

県との協議の中では、早くとも28年秋からの着工となる予定であるので、来年の作付けは可能と考えているとの説明がありました。委員会は、種々の意見等をふまえ、行政においては、町民の期待要望にこたえるべく全力で取り組むよう求めました。

空

間線量のデータを管理し公表を
減容化施設に係る進捗状況

空間線量は定期的な計測し管理していくとのことであり、スラッグ搬出は防護服を着用し、安全対策を講じていくとの説明がありました。委員会としては、水の分析とモニタリングポストの空間線量については、データをしっかりと管理し、空間線量のデータを公表すること。

工

事スケジュールに沿って推進せよ
ふくしま広野町メガソーラー発電

土砂流失対策は、U字溝が入っているため地形は現状の状態です。また、余裕を持った工程になっており、予定通り12月には売電ができると考えているとの説明がありました。委員会は、工事スケジュールに沿って推進するよう求めました。



特別栽培米作付けの様子

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映されたのか、対応を追跡しました。

●平成26年9月定例会● 一般質問
門馬 まりえ 議員

地域包括支援センターの機能を強化せよ

震災以降、職員体制が整っていません。町として職員確保に向けてどのように支援していますか。



町職員の派遣も含め総合的に判断

今後、町職員などの派遣も含め総合的に判断し、地域包括支援センターの機能強化を図りたいと考えます。



包括支援センターで体制の充実

広野町包括支援センターは、平成27年4月1日から2人体制から3人体制で仕事に取り組むことになりました。



包括支援センターの様子

4人の議員が町政を問う

一般質問席

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

図書を配布し子育て支援の拡充を図れ

遠藤町長／副読本配布で支援

北郷 子育て支援の質や量の拡充を図ることを目的とした「子ども・子育て支援制度」が、今年度から始まりました。

初めての妊婦や第一子誕生時に、出産に関する図書や育児書の配布をすべきではないですか。

町長 母子手帳交付時に、出産時期の注意点や幼児期までの子育てなどについて説明がされている「母子手帳副読本」を配布しています。

また、出産後には、子どもの救急についてと、予防接種等に関する冊子を配布し、子育ての支援を行っています。

今後、子育て支援につながる新たな取り組みを実施していきます。



公民館で実施している英会話教室

学習機会を提供し生涯学習を推進せよ

遠藤町長／生涯学習の更なる充実を図る

北郷 ①今年度の施政方針の中で、町民の帰町後のニーズに対応するため、学習機会の提供・支援を強化していくこと述べています。このような事業を展開しているのですか。

②以前に実施していた町民大学講座開講を実施し、学生から成人までの方に学習機会を提供し生涯学習を推進すべきではないですか。

町長 ①英会話教室、ナイスレディ講座を実施し、夏休みと冬休みを活用し、子どもを対象とした学習機会を提供する事業の実施を検討しています。

②町民の生活課題及び学習ニーズを把握し、「幸せな帰町復興」に向け、「ふるさと創生大学」を開講します。

町の花「やまゆり」の現状と今後の方策は

遠藤町長／保護・育成に取り組む

北郷 ①イノシシなどの被害により減少傾向にある中、群生地の有無を含めての現状は、どのようになっていますか。

②保護・育成についての取り組み方策はどのように考えていますか。

町長 ①路肩の除草作業の請負業者に対し、保護・育成の協力をお願いしてきた結果、本数が増えてきています。群生地については、把握していない状況にあるため、確認していきます。

②除草作業時における保護・育成の取り組みを継続していきます。



北郷 幹夫 議員



自生している「やまゆり」

町営住宅新規入居者の住宅料を減免せよ

町長／家賃は負担するのが原則

門馬 地震・津波により災害公営

住宅に入居している方のほか、諸事情により町営住宅に入居せざるを得ない町民がいます。

町長 町営住宅は、町民への住宅供給を目的としており、住宅を使用する対価として家賃を負担いただくことが原則です。

この新規入居世帯についても住宅使用料の減免措置を考慮すべきではないですか。

震災時点で入居している方からは、2分の1を徴収してありますが、震災により「住宅に住む」という目的を奪われたことから、減免措置を実施してまいります。



入居が進む町営住宅（桜田住宅）

介護老人保健施設の建設誘致をせよ

遠藤町長／施設の必要性を検討していく

門馬

誰もが歳を重ねれば疾病や羅病は、避けて通れない問題であり、要介護者になってしまいう方もいます。

町長

本年3月に広野町「高齢者福祉計画」及び「第6期介護保険事業計画」を策定し、本計画の調査・推計により、今後確実に高齢者が増える状況と認識しています。

医師の管理の下、作業療法士・理学療法士等々の様々なサービスを受け、要介護者が人間的尊厳を保ちながら生活が送れるように介護老人保健施設の早期建設を期待しますが、町長の考えはどのようですか。

入所希望の意向、施設整備に伴う介護保険料への影響などを踏まえ、必要性を検討していきます。



門馬 巧 議員

賠償についての対応は

遠藤町長／全力を懸けて要望していく

小磯

5月27日の住民説明会にて、「精神的賠償を国に求める」と発言しましたが、その発言真意を聞かせてください。さらに、これまでの要望との整合性はありますか。

町長

①自治体間で、賠償格差が拡大することに到底納得はできません。その格差を是正し、生活再建に向けた支援を国に強く求めていきます。要望の整合性は、継続的に要望を行ってきたと考えると、今回の緊急要望もその一環と捉えています。

②国、政府及び原子力損害賠償紛争審査会に対して、対象範囲の拡大を求めています。

③新たな復興・再生に向け早期の被災者救済を図るよう継続的に要望・要請を行っていきます。

幸せな帰町・復興に向け、全力を懸けて取り組みます。

警戒区域からの土砂などの搬入実態は

遠藤町長／汚染土壌が混入しないよう適切に管理

小磯

汚染された土砂が、地域住民に説明なく他自治体から搬入されたと聞きます。

町長

で発生した残土を搬入したものです。

②本年4月に町職員が現地確認を行い、放射線量に問題がないことを確認しています。

今後は事業者が、汚染土壌などが混入しないよう責任を持って管理し、町は適時に現地調査を行い、情報を共有していきます。

③国は、避難指示解除準備区域で発生する建設発生土は、再利用などを行う区域の制約を課さないとしており、使用の際は、表面線量率が0.23マイクロシーベルト毎時以下であることにしています。

町長

①折木字下原地内の草野建設株式会社砕石跡地への搬入です。

昨年8月に、県相双農林事務所より、採取跡地の復旧にあたっては計画的かつ確実に埋め戻しをするよう指導があり、榎葉町総合グラウンド災害復旧工事が

作業員に対するあらゆる問題の対応は

遠藤町長／各関係機関と連携しながら対応

小磯

①作業員数と把握している増加予定数は何人ですか。

②昨年12月に約束された、復興予算を使用したの宿舎の町内集約はいつ実現しますか。

③作業員による町への納税について、各課の滞納額はいくらになりますか、その対応はどのようですか。

④震災後、交通事故・犯罪の推移と対策はどのようですか。

町長

①事業所数が80社、宿泊者数が約3千人の状況です。増加予定数は、現地調査を含め宿泊者数の把握を行っています。

②町内事業所及び大手建設業に対し、新たな事業所集約用地への移転需要のためのアンケートを実施しました。その結果を基に事業規模や補助金の活用を含め国と協議していきます。

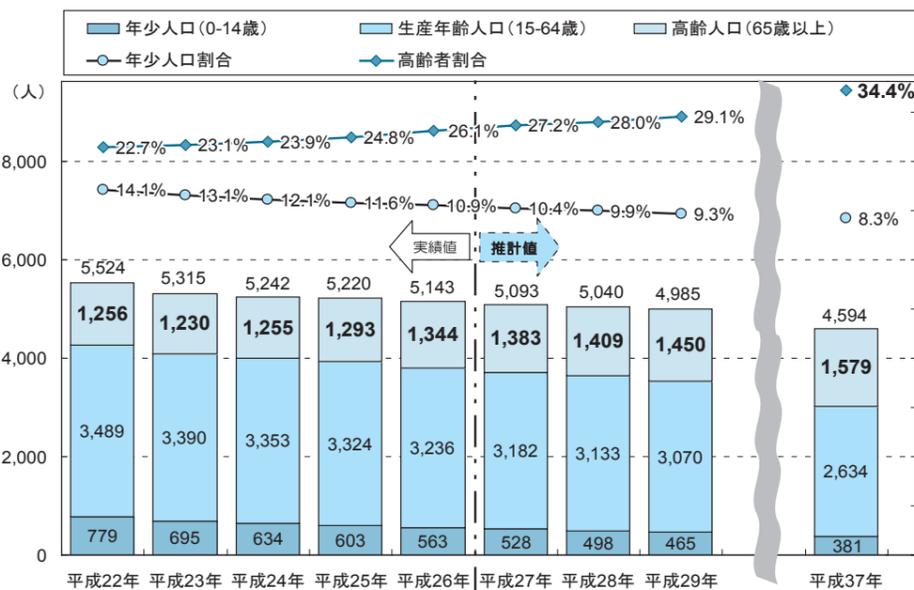
③滞納額は、平成24年度から平成26年度までの累計で、個人町県民税、国民健康保険税、介護保険料の合計が、950万3816円であり、滞納者数は、90人となっています。

個別訪問の強化や催告書による納税相談を実施し、滞納額の縮減に努めていきます。

④町内での交通事故の発生件数は、震災前の平成22年は23件、23年は9件、24年は11件、25年は22件、26年は26件です。

刑法犯認知件数は、平成22年は29件、平成23年は91件、24年は44件、25年は20件、26年は44件です。

双葉警察署をはじめ関係機関と連携のもと、官民一体となり交通事故防止と防犯に努めていきます。



人口と高齢化率の推計 (広野町「高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」)

当町出身者で自衛隊に入隊している人数は

遠藤町長／陸上自衛官のみ入隊

畑中 ①国会では、米軍の戦争に自衛隊を派兵し、武力行使ができる安全保障法制を審議中です。

町長 ①当町出身の現役は、陸上自衛官が4人、海上航空自衛官はおりません。

当町の各自衛隊に入隊している人数を示してください。

精神的損害賠償を強く要望せよ

遠藤町長／継続的に要望・要請を行う

畑中 ①町長が6月に国に対し緊急要望しましたが、その理由を示してください。

質すべきではないですが。④第一原発の廃炉を未だに宣言しない首相・東京電力の姿勢を改めさせることも重要ではないですか。

②これまで何度か要望書を出していますが、国・東電は向き合っておこなっていません。その姿勢をどう打開していきますか。

⑤原発事故の収束に向け町はあらゆる協力をしてきたにも関わらず、町民の賠償に差をつけられ、住民同士の分断が起きています。町民の崩された誇りを取り戻す覚悟で要望

町長

①双葉郡内8町村内で賠償差が拡大すること

活動に望んでほしいと思いますが、このような覚悟で望んでいますか。

は到底納得できるものではなく、その格差を是正し、コミュニティの再生支援を求めるため、帰町した際の生活再建に向けた支援を国に求めるものです。②今なお多くの町民が

避難生活を余儀なくされている実情を訴え、その責任が国及び東京電力にあることを認識するよう、継続的に要望・要請を行っていきます。③政府、国会、民間の各委員会が事故の検証をしました。東京電力は事故の責

任を取るべきと考えています。④県民は健康への不安、風評被害など数多くの問題を抱えています。国並びに東京電力に対し、県内全ての原子力発電所を廃炉するよう求めています。⑤格差が生じているこ

とは地域コミュニティの低下につながり、作業員などの共生を図りながら、朝夕の交通渋滞など、町民への負担は多大なものとなっています。日々変化する国内情勢を的確に捉え、全力で取り組みま

帰還実現に向けた生活再建へ緊急要望

～帰還促進のため新たな支援を～



額賀本部長へ緊急要望書を提出する遠藤町長と鈴木議長

町長、議長、川内村長、川内会議議長らと共に合同で、平成27年6月3日、自由民主党東日本大震災復興加速化本部 額賀本部長に帰還実現に向けた生活再建支援の緊急要望を行いました。

【緊急要望書の主な内容】

双葉地方の復興へ向け帰還を促進するために、帰還した際の生活再建に向けた新たな支援として、避難指示解除準備区域の住民に支払われる賠償金に整合する生活再建支度金等の支給を講じること。

陳情を受け意見書を提出

「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書

【意見書内容】

東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、引き続き、平成28年以降も全額国費で支援する「被災児童生徒就学支援等事業交付金」を継続すること。

平成27年5月27日付けで福島県教職員組合から陳情があり、意見書を復興大臣をはじめ関係機関に送付しました。

| | | |
|--------|-------|--|
| [送付先] | | |
| 復興大臣 | 竹下 亘 | |
| 文部科学大臣 | 下村 博文 | |
| 総務大臣 | 高市 早苗 | |
| 財務大臣 | 麻生 太郎 | |



朝夕と大変混み合う6号国道



ま ちがと インタビュー

ふたば未来学園高等学校が開校 開校したことにより町の変化は

平成27年4月8日に、ふたば未来学園高等学校が開校しました。明るく希望に満ちた若い学生を見かけるようになりました。

そんな中、町内の商店では、どのような変化があるのか、どのような想いがあるのか伺いました。



鈴木 由紀夫さん
(下浅見川・築地)

私の店にも職場訪問で来られたこともあり、お客さまと店という縁で接するだけかも知れませんが、この縁を大切にして彼らを温かく応援していきたいと思っています。

広野町に若い人達の姿、そして話し声が聞こえるようになり、とても活気があり町に希望が出てきたように思います。
生徒達が歩いているのを見るだけでも笑みがこぼれます。



4月に開校したふたば未来学園高等学校



須藤 景亮さん
(セブンイレブン広野町店)

ふたば未来学園高等学校が開校してから、たしかに生徒達、保護者の皆様において頂いています。

以前は、作業員の方々を含めて大人の生徒がほとんどでしたが、若い生徒さん達が目につくようになって、広野町全体が明るくなったように感じます。

生徒さん達はそれぞれ個性があつて、興味深く接客させて頂いています。
今の一年生の成長を楽しみにしています。

編集後記

梅雨の時期は、七変化とも呼ばれるアジサイの花が見る人を楽しませてくれる一方、体調をくずす方が多くなります。皆様は、お変わりないでしょうか。

町政75周年となる本年は、ふたば未来学園高校の開校、町の復興シンボル事業である駅東側開発整備事業、第2期災害公営住宅整備事業、役場前に公設商業施設の開業等があります。

町議会も、これら事業の推進に向けて、町民の皆様と共に復興再生を目指し全力で頑張つて行きたいと思えます。

また、私たち編集委員は、親しみやすい広報誌づくりに努めてまいりますの

で、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。
(北郷幹夫)



梅雨時期を彩るアジサイ

発行・編集責任者

議長 鈴木紀昭

広報委員会

委員長 渡邊正俊

副委員長 北郷幹夫

委員 塩 史子

委員 渡辺久長

委員 門馬 巧

委員 畑中大子

委員 小磯利雄

次の定例会は9月です